

学術研究実績報告書

申請書との変更点およびその理由(内容、日程、実施場所、参加者等で変更があれば記入)

IT マネジメント能力評価指標の試行評価については、評価指標については作成の見通しを得たが、試行評価の実施に着手していない。実施対象組織の代表者と協議した結果、2017年10月7日に実施した。

研究実績概要

研究代表者(申請者氏名・所属機関・職名):

山本修一郎・名古屋大学大学院・教授

共同研究者(氏名・所属機関・職名):

なし

研究課題名: 適応型 IT マネジメントの研究—IT4IT に関する調査研究

研究期間: 2016年11月1日 ~ 2017年11月30日

概要: (1,000字以内で記述)

以下の(1)~(5)について調査研究を実施した。

(1) IT マネジメントモデルの比較評価

代表的な IT マネジメントモデルとして、itSMF の ITIL(IT Infrastructure Library)、TOG(The Open Group)の IT4IT がある。これらの IT マネジメントモデルを比較することにより、それぞれの位置づけを明らかにした。

(2) IT マネジメントモデル導出プロセスの比較評価

IT マネジメントモデルに基づき、IT マネジメントモデルの導出についてのモデリング・プロセスについて比較した。

(3) 事例研究

IT4IT については海外先進事例が報告され始めていることから、TOG 国際会議に参加して先進事例についての情報を入手することにより、仮想的なビジネスケースを題材として、新たな IT マネジメントモデルを導出するプロセスを試行実験することにより、IT4IT に基づいた IT マネジメントモデルの有効性と課題を明確化した。

(4) ビジネスモデル変化についての研究

事例研究で作成した IT マネジメントモデルを変化させることにより、IT マネジメントモデルに対する変更管理方法を明らかにし、ビジネス変化に対応した IT マネジメントモデルの進化プロセスを明らかにした。

(5) IT マネジメント能力評価指標の研究

上述した調査研究結果に基づいて、先進的な IT マネジメントモデルの導入における客観的な組織評価指標を考案した。

この結果、以下の成果[1]~[6]を発表した。

[1] 山本修一郎、IT4IT と ITIL、Web Computer Report, Vol.57, No.3, pp.18-25, 2017

[2] 山本修一郎、IT4IT と ITIL の適用事例、Web Computer Report, Vol.57, No.4, pp.19-28, 2017

[3] 山本修一郎、IT4IT の適用法、Web Computer Report, Vol.57, No.5, pp.19-24, 2017

[4] 山本修一郎、IT4IT における IT マネジメントサービスの発展、Web Computer Report, Vol.57, No.6, pp.19-25, 2017

[5] 山本修一郎、IT マネジメント能力評価指標、Web Computer Report, Vol.57, No.11, pp.19-25, 2017

[6] 山本修一郎、IT サービス・マネジメントの技法、デザインエッグ社、ISBN-10: 4815002533, 2017.11.20